

農業農村整備を契機とした 地域振興事例集 (第5弾)

生産性の高い農業と活力ある
農村を実現する農業農村整備

令和 5年 4月
北海道農政部

■農村振興事例集 目次(北海道)

年月	振興局	タイトル	関係市町村	主な作物	頁
R5.4	空知南部耕地出張所	『子実用とうもろこし』の普及に向け、全国初の生産者団体が誕生！	長沼町	水稲、小麦、大豆等	1
R5.4	空知北部耕地出張所	高品質・良食味米生産を目指す家族経営型スマート農業体系の構築	新十津川町	食用米、玉ねぎ、長ねぎ、トマト	2
R5.4	空知東部耕地出張所	基盤整備を契機としたスマート農業の推進や転作作物の安定生産	奈井江町	水稲、小麦、大豆、トマト、メロンなど	3
R5.4	石狩	水田の汎用化による高収益作物の生産拡大	当別町	水稲、小麦、大豆等	4
R5.4	後志	畑地かんがいを契機とした「らいでんブランド」の確立と地域の取組	共和町	米、スイカ、メロン、スイートコーン、ばれいしょ、長ネギ、ブロッコリー等	5
R5.4	胆振	地域特性の自然エネルギーを活用した持続的農業の展開	豊浦町	小麦、甜菜、かぼちゃ、ばれいしょ、いちご等	6
R5.4	日高	黒毛和牛「みついし牛」のブランド化と生産・収益の向上	新ひだか町	牧草、水稲、ミニトマト等	7
R5.4	渡島	基盤整備を契機とした酒造好適米の契約栽培による地域活性化	七飯町	酒米(きたしずく)、ねぎ、にんじん等	8
R5.4	檜山	町産【絹さやえんどう】を活用した地域の活性化	上ノ国町	水稲、絹さやえんどう、アスパラ、トマト、ばれいしょ、大豆、小豆、ニラ、ブロッコリー等	9
R5.4	上川南部耕地出張所	湛水被害及び湿害の解消による、小麦・大豆の生産拡大	上富良野町	米、小麦、豆類、馬鈴薯等	10
R5.4	上川北部耕地出張所	大区画化の推進による持続可能な生産体制の確立	士別市	水稲、小麦、豆類等	11
R5.4	留萌	余剰労力を生かした新規作物の導入や地産地消の定着による地域活性化	遠別町	水稲(もち米) かぼちゃジャガイモ等	12
R5.4	宗谷	酪農に適した冷涼な気候とオホーツクの雄大な自然に抱かれて、安全で優良な生乳を生産	枝幸町	牧草	13
R5.4	オホーツク東部耕地出張所	高収益作物「女満別産人参・ブロッコリー」の生産拡大と付加価値化	大空町	小麦、甜菜、馬鈴薯、米等	14
R5.4	オホーツク中部耕地出張所	【国土強靱化】緊急排水ポンプの整備を契機とした危機管理能力の向上	北見市	玉葱、小麦、甜菜、馬鈴薯、小豆等	15

年月	振興局	タイトル	関係市町村	主な作物	頁
R5.4	オホーツク西部耕地出張所	生産性と所得の向上による酪農経営の安定化～「酪農郷おこっぺ」の取組	興部町	牧草等	16
R5.4	十勝南部耕地出張所	新たな地域ブランド作り、MEMPIーナッツ(MEMPIー)で地域活性化	芽室町	小麦、甜菜、馬鈴薯、豆類 スイートコーン、野菜等	17
R5.4	十勝北部耕地出張所	生産量日本一の小麦と大豆の安定生産、高収益作物による農家所得の向上	音更町	小麦、豆類、馬鈴しょ、甜菜、野菜類等	18
R5.4	十勝東部耕地出張所	大規模機械化農業により小麦などの品質・生産性の向上	更別村	豆類、はれいしょ、てん菜、小麦 スイートコーン、にんじん、玉ねぎ等	19
R5.4	釧路	酪農地帯における基盤整備を契機とした高収益農業の実現と安定化	白糠町	牧草等	20
R5.4	根室	おいしい牛乳を全国に届けたい～進化する酪農と農村地域の発展～	中標津町	牧草、デントコーン等	21

しじょう 『子実用とうもろこし』の普及に向け、全国初の生産者団体が誕生！

ながめま 【北海道長沼町】

【生産者の声】

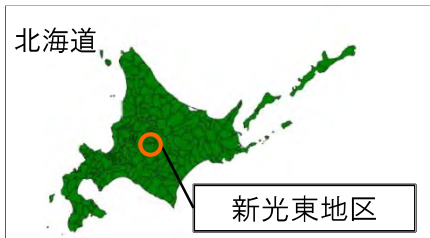


子実用とうもろこし含む輪作を実践した結果、深く伸びた根が土壌環境を改善し後作（小麦・大豆）の収量も増加。大幅な農作業の省力化により農地の集積を図りながら輪作体系を確立。更なる収量増加や品質向上を目指す！

北海道士実コーン組合長 Yさん

【取組地域の概要】

○位置
北海道夕張郡長沼町（過疎）



- 主要作物
・水稲、小麦、大豆等
- 主な支援施策
・道営農業競争力強化農地整備事業（農地整備事業（経営体育成型））
新光東地区（一期・二期）H29～

基盤

ほ場の大区画化と排水改良による作業効率の向上

- 大区画化や耕作道の整備、排水改良により、子実コーンの栽培が可能となったほか、大型機械を活用した効率的な営農が可能に



標準区画（1.5 ha）



暗きよ排水に対応した排水路

基盤整備

（H29年～現在）

【整備前】

- 不整形な区画や排水性の悪いほ場条件により、輪作体系を確立することが難しく、雑草対策や連作障害の発生により収量や品質が不安定



標準区画（0.5 ha）



排水路の切深不足

生産現場

生産者を中心とした組織を設立

- 2011年、子実コーンの試験栽培開始
- 子実コーン生産の定着に向け、若手農家を中心に2016年『北海道士実コーン組合』発足

【子実用とうもろこし】

- ・子実のみを収穫・乾燥した飼料
- ・濃厚飼料のほか、食品用、工業用など多岐に活用



地域の取組

集荷・貯蔵・出荷施設の整備と販路拡大

- 各拠点の施設整備を進め、生産・供給体制を確立し、加工品の販路拡大に取組
- 全国の食品メーカーや畜産業向け供給



←子実コーン貯蔵施設の建設

子実コーンを→原料とした飲料



担い手

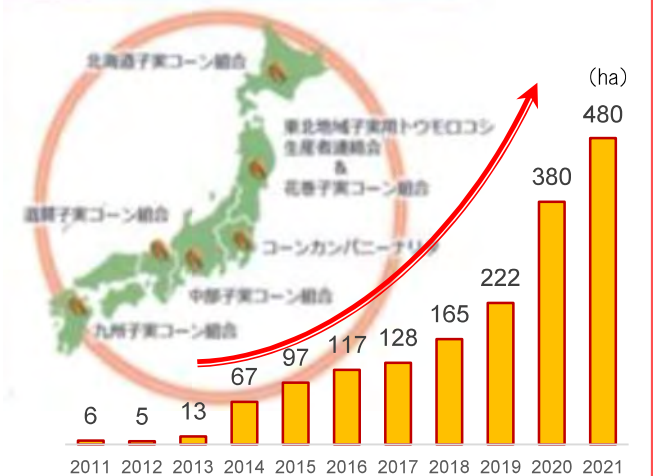
視察等の情報共有の場を提供

- 農業機械メーカー等の技術開発に協力
- シンポジウムや収穫実演会等を開催し技術や経験を広く伝達

全国規模で連携したネットワークを構築

- 自給飼料の生産が拡大し、食料安全保障に寄与（濃厚飼料の国内自給率約1割）
- 栽培技術向上のための技術情報の発信や作付情報の集約、関係機関との連携強化のため、全国組織となる『日本メイズ生産者協会（JMFA）』設立（構成農家戸数160戸）

全国ネットワーク



組合員における道内生産面積の推移（北海道士実コーン組合提供）

【生産者の声】



ほ場の大区画化により、作業時間が大幅に減り、トマトの生産や家族の時間が増えました

Sさん家族

【取組地域の概要】

- 位置
北海道 新十津川町
(過疎地域、山振、特別豪雪地帯)



- 主要作物
・食用米、玉ねぎ、長ねぎ、トマト
- 主な支援施策(H16年～R5年)
・道営経営体育成基盤整備事業
・道営農地整備事業(中山間地域型)

基盤

大区画化により生産性の向上

水田の**大区画化**により、自動操舵トラクターなどの導入が容易



(平均1.0ha以上)

基盤整備

(H16年～R5年)

【整備前】

高齢化、人口減少に加え**狭小な区画**による生産性の低下が課題。



(平均0.3～0.5ha)

生産現場

基盤整備を契機としたスマート農業の導入

- スマート農業**(可変施肥、リモートセンシング、自動給水栓)の実施に向けて、町補助により、GPS田植機62台やドローン72台等を導入
- スマート農業により品質・収量の見える化により**高品質・良食味米率の向上**
- 作業時間の短縮によりトマトの作付け開始



収穫時に収量・食味データを自動取得

地域の取組

農村ツーリズムによる農業の魅力発信

- 町内小中学校へのドローン見学会など**スマート農業の普及啓発活動**
- 農村ツーリズム**(修学旅行生や都市部住民の農業体験)の実施
- 野菜直販による販路拡大



スマート農業体験

担い手

農福連携の取組、新規就農者の増加

- 農福連携**に取組み、作業員を確保することで高収益作物を栽培
- 町とJAでピンネ農業公社を設立し新規就農者等をサポート
(R3新規就農者実績：7名)



農福連携

家族経営型スマート農業体系の構築

- 町内農家のほとんどが家族経営のため、**家族経営でスマート農業の先端技術を導入した経営スタイル**(新十津川モデル)を構築
- スマート農業により**高品位、複合経営が可能**になるとともに家族の時間を創出
- 「**廃棄野菜×農福連携**」により規格外のトマトを加工した商品(トマトパウダー)の開発



【スマート農業実証農家での検証結果】

- ・無人トラクタなどにより水稲栽培作業を25%省力化
- ・特に春作業は3～4割の省力化が可能に

面積	現状	R2実績	削減効果	削減率
30ha	2,172h	1,620h	△552h	△25%

- ・高品質・良食味米率の向上により米の販売額が増加

米の販売額	増加額	増加率
27,000千円	1,628千円	6%

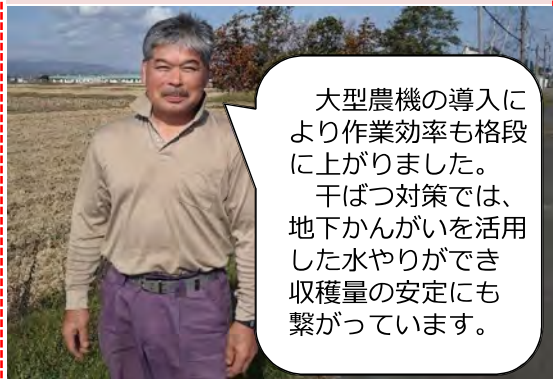
- ・複合経営の拡大によりトマトの販売額が増加

トマトの販売額	増加額	増加率
1,837千円	1,170千円	64%

出典：新十津川町

基盤整備を契機としたスマート農業の推進や転作作物の安定生産

【生産者の声】



大型農機の導入により作業効率も格段に上がりました。干ばつ対策では、地下かんがいを活用した水やりができ収穫量の安定にも繋がっています。

奈井江町 大関さん

【取組地域の概要】

○位置
北海道 空知郡 奈井江町



○主要作物
・水稲、小麦、大豆、トマト、メロン など

○主な支援施策
・道営農地整備事業(経営体育成型)
(H25～現在)

農地の大区画化・汎用化による営農の省力化と転作作物の生産拡大

- 小区画な圃場が多く、排水性も悪いことから生産性が低く、**転作作物が導入できない状況**
- 農地の大区画化や排水対策により、**転作作物の生産が拡大**されたほか、大型農機の導入により**生産性が向上**

基盤

【整備後】

大型農機による営農作業の省力化

小麦の導入拡大

大区画化(1.4ha)

【整備前】

排水不良

標準区画(50a)

基盤整備 (H25年～)

スマート農業技術や新たな栽培方法の導入

生産現場

- スマート農業技術**を導入できる環境を整備するため、JAがRTK基地局を設置
- 大型機械**や**自動操舵システム**等の積極的な導入
- 収量向上に繋がる**大豆** **間作小麦栽培**など新たな栽培方法を導入
- 干ばつ時に、**地下かんがい**を活用した灌漑を実施し、収量を安定確保



自動操舵システム 大豆間作小麦の播種状況

新規就農支援や農業体験学習

担い手

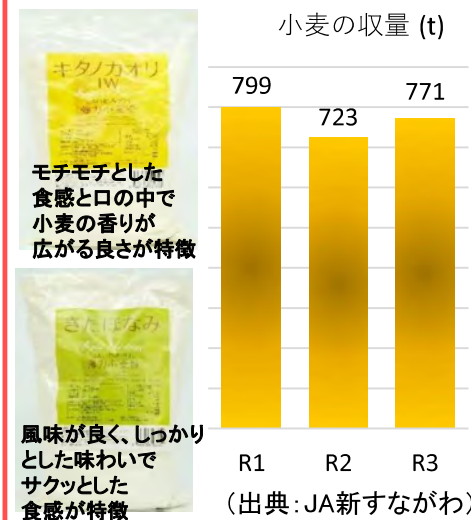
- 持続的な農業に向け、町・JAによる担い手育成基金を活用した**農業技術習得**など**新規就農の支援**
- 農業体験学習を通じた**次世代を担う若者の育成**



農業体験学習

農業生産性の向上

- 農地の大区画化や排水対策により、**小麦の安定生産**を実現



【生産者の声】



干ばつでも地下かんがい
で、ブロッコリーの収量を確
保できました。
施工して本当に良かった！

農業法人代表のT夫妻

【取組地域の概要】

- 位置
北海道 当別町



- 主要作物
・水稲、小麦、大豆等

- 主な支援施策
・経営体育成基盤整備事業(H14～H18)
・農地整備事業(経営体育成型)
(H29～R5)

基盤

基盤整備による水田の汎用化

- 大区画化及び暗きょ排水の整備により、作業効率の向上や汎用化が進み、小麦のみならず、ブロッコリー、かぼちゃなど高収益作物の導入も出来るようになった



ブロッコリー作付け状況



暗渠排水施工状況

基盤整備

(H29年～R5年)

【整備前】

排水不良土壌が広がっており、**湿害から作業性が低下し**、安定した営農作業が出来ない



排水不良のほ場

生産現場

密苗等の先進技術の導入

- 水稲栽培に密苗等(マット)の先進技術を導入苗箱、育苗ハウスを大幅に減量し、**コストカット**や**更なる省力化を促進**
- JAでかぼちゃの低温貯蔵施設を建設したことで長期保管が可能となり、国産が品薄な**冬至までの出荷が可能**に



貯蔵施設

地域の取組

6次産業化の取組

- JA北いしかりでは、ラーメン、パスタ、そうめんなどの、多くの**小麦製品を商品化**
特に「当別町の生パスタ」はR2には1万袋以上売れた人気商品



生パスタ

担い手

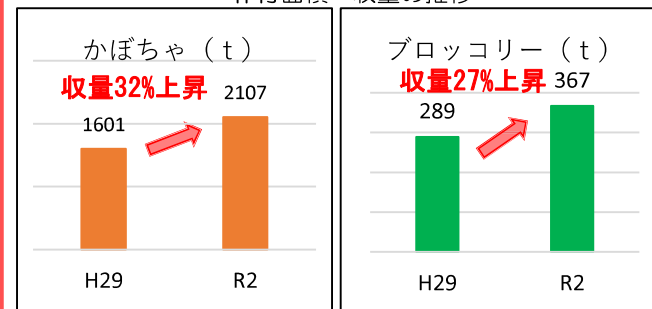
新規就農者の確保・支援に向けた取組

- 当別町農業総合支援センターで新規就農者を支援
- 担い手確保に向けた各種フェアなどに出展
(R2新規就農6名)

高収益作物への作付転換

- 基盤整備により、農作業の省力化とほ場の排水性が改善され、輪作体系において**高収益作物の導入が可能となり、収量が増加**
- 消費者のニーズを捉えながら、干ばつ時も**地下かんがいを活用**し、高品質で安定した生産を目指す

作付面積・収量の推移



(JA北いしかり調べ)



かぼちゃ選別状況



保管状況

【生産者の声】



区画整理やドローン・自動給水器の導入等で、作業効率がアップしました！

昨年、法人化したIさん

【取組地域の概要】

○位置
北海道 共和町 (中山間地域)



○主要作物
・米、スイカ、メロン、スイートコーン、ばれいしょ、長ネギ、ブロッコリ等

○主な支援施策
・国営かんがい排水事業(S55～H11)
・道営畑地帯総合整備事業(H29～R4)
・道営農地整備事業(R5～R13)

畑地かんがいの実施による、スイカ・メロンの生産拡大

基盤

【整備後】

- 畑地かんがい用水の確保により、スイカは露地栽培から施設栽培に転換し品質が安定し、促成・抑制栽培により長期安定出荷が可能に
- スイカに続きメロンの作付も大幅に増加
- 水田では、大区画化や排水改良を推進し、農作業が効率化



スイカと長ネギの混植栽培

基盤整備

(H29年～)

【整備前】

昭和30年代から水稲のほかにスイカを栽培し始め、スイカの作付け面積は道内有数の産地となったが、降雨に依存する露地栽培のため、糖度等の品質の確保や長期安定出荷に課題

生産現場

ブランドをささえる取組

- スイカ・メロン集出荷施設に光糖度センサー等の計測装置を導入するなど品質管理を強化
- スイカ・メロンと長ネギの混植栽培により、連作障害の軽減と減農薬を実現
- 水田においてドローンによる農薬散布や、自動給水栓の導入などスマート農業の推進による省力化

地域の取組

地域との交流や新たな付加価値化

- JAなどにより、ふれあい農園や町内全小学校での食育教育、お祭りでのPR販売を実施
- R9年の道の駅開業に向けて、メロンのお酒やゼリー、ソーダ等の新たな商品開発

担い手

多様な地域の担い手づくり

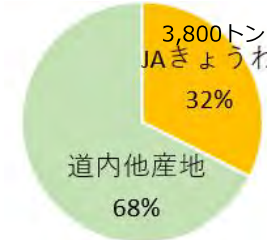
- 経営の大規模化・多角化に伴う農業法人化の促進
- 地域おこし協力隊の活用等による新規就農支援



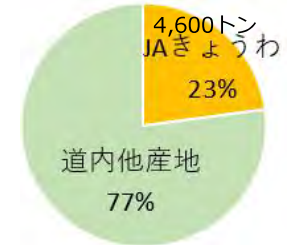
「らいでんブランド」の他作物への拡大

- 水稲栽培を省力化し、スイカ・メロンに労力をかけることにより、品質が向上され、収穫量が増加し、全道有数の産地として「らいでんブランド」を確立
- 「らいでんブランド」を他の農産物にも拡大することにより、収益力も向上。
(スイートコーン、長ネギ、ばれいしょ等)

スイカの収穫量における全道シェア (令和2年)



メロンの収穫量における全道シェア (令和2年)



戸あたり販売金額 (千円)



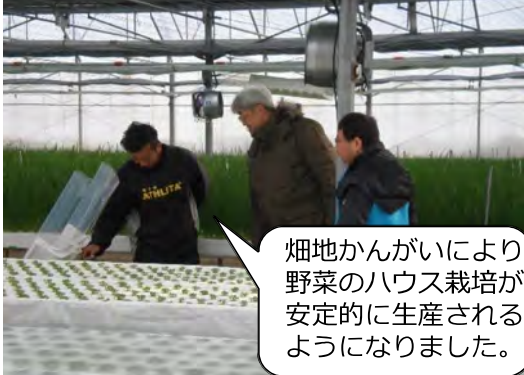
スイカ ■ H27 ■ R2 ■ メロン

出典：北海道農林水産統計年報及びJAきょうわ 調べ

地域特性の自然エネルギーを活用した持続的農業の展開

とよら
【北海道豊浦町】

【生産者の声】



畑地かんがいにより野菜のハウス栽培が安定的に生産されるようになりました。

ハウス栽培生産法人さん

【取組地域の概要】

- 位置
北海道 豊浦町（山村振興）



豊浦北、桜第2地区 他

- 主要作物
・小麦、甜菜、かぼちゃ、ばれいしょ、いちご等
- 主な支援施策
・道営畑地帯総合整備事業（H8～）
・道営緊急畑地帯総合整備事業（H8～H13）
・かんがい排水事業（H4～H6）
・農道整備事業（H21～H25）

基盤

畑地かんがいや区画整理等により農業経営の安定化

- 畑地の勾配修正や暗渠排水により、**収量増加や品質が向上**
- 畑地かんがいの整備により、**ハウス栽培が拡大**



改良山成工・暗渠排水整備後の農地（畑）

基盤整備

（H8年～現在）

【整備前】

- 本地域では、ばれいしょ等の土地利用型農業が展開されているが、排水不良により、**収穫作業・作業の生産性が低下**



排水不良の状況

生産現場

自然エネルギーを活用した安心・安全な農業

- 雪を活用した自然エネルギーによる**雪蔵で、ばれいしょを貯蔵**
- スラリー廃液を町内畑作農家に還元するなど酪農家と**「耕畜連携」**を実現



地域の取組

通年生産の実現と雇用の創出

- 道内の生産法人を誘致し、施設野菜の**通年生産を実現**
- 通年の作業に伴い、町内から**雇用が創出される**



通年栽培施設

ベビーリーフ

担い手

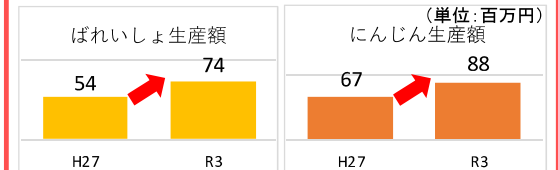
就農支援の条例を制定し、新規就農者へ支援



- （左）広島から移住した最北端のオリーブ農家兼葉草農家のKさんご家族
- （右）宮城から移住した無農薬いちご農家のSさんご家族

生産拡大、ブランド力の向上

- 基盤整備の実施により、ばれいしょ等の**生産額が1.3倍に増加**
- 雪蔵によるCO2削減**など環境負荷の少ない安心・安全な農産物により**ブランド力を向上**



出典：町農林課



雪倉貯蔵マーク

雪蔵のCO₂削減PRポスター

黒毛和牛「みついし牛」のブランド化と生産・収益の向上

しん
【北海道新ひだか町】

【生産者の声】



暗渠・客土で飼料作物の品質・収量が向上し適期の作業が可能に。飼養頭数も増えました。

親子で和牛生産を営むHさん

【取組地域の概要】

○位置

北海道 新ひだか町 (過疎地域等)



○主要作物

・牧草、水稻、ミニトマト 等

○主な支援施策

- ・道営中山間地域総合整備事業 (H13~H17)
- ・農業基盤整備促進事業 (H26~H28)

基盤

排水性の改善による飼料作物の安定生産

【整備後】

- 排水性の改善により、大型機械を導入できるようになり、**作業効率が向上、適期作業が可能に**
- 排水性の改善と併せ客土を実施したことで飼料作物が**安定生産され、収量・品質が向上**



基盤整備

(H13年~H17年)
(H26年~H28年)

【整備前】

- 排水性の悪い土壌のため、過湿状態により、**収穫作業に遅れ**
- 大雨時は冠水し、**飼料作物の収量や品質低下**



過湿状況の草地

生産現場

土地利用を高めた畜産

- 家畜の管理技術の向上とともに、飼料作物の安定生産が可能となったことで、飼養頭数に見合う**効率的な土地利用が図られる**
- 均一な品質確保のため**配合飼料を統一**

地域の取組

品質確保とブランドのPRに関する取組

- 認証制度を設け、**認証店で「みついし牛」を販売**
- イベント(みついし蓬萊山まつり、しずない農業まつり)等でPRし、**ホテル等での利用が広まる**
- ふるさと納税の返礼品**として提供



←みついし蓬萊山まつりにて、多くの人々が並ぶ「みついし牛」の販売



担い手

新規就農者の確保に向けた取組

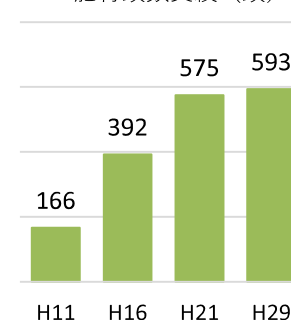
- 新ひだか町農業担い手育成支援協議会を中心とした**就農相談活動・就農研修等の取組を推進**
- H25からR4までの**新規就農者は39名**

経営規模の拡大とブランド力の向上

- 基盤整備により湿害等が解消され作業性が向上し、**経営規模を拡大**
- 排水性の改善や客土により**良質な飼料作物を生産**
- 子牛の生産から育成・肥育まで生産農家が手がける**一貫肥育によりブランド化を確立**
- 各種共励会等で多数入賞**

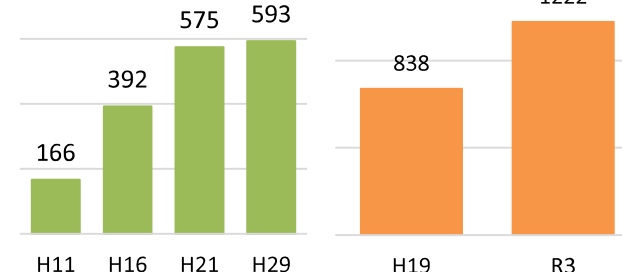


肥育頭数実績(頭)



肉用牛販売実績

(百万円) 1222



【JAみついし聴き取り】

基盤整備を契機とした酒造好適米の契約栽培による地域活性化

ななえ
【北海道七飯町】

【生産者の声】

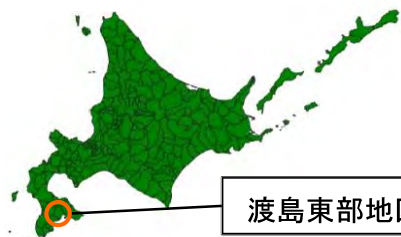


基盤整備を契機に酒米の契約栽培を始め、経営が安定しました。

酒米を契約栽培しているSさん

【取組地域の概要】

- 位置
北海道 七飯町（半島振興）



渡島東部地区 他

- 主要作物
・酒米(きたしずく)、ねぎ、にんじん等
- 主な支援施策
・道営排水対策特別事業(S55～S58)
・道営ほ場整備事業(S59～H6)
・道営農地整備事業(H6～現在)
・中山間地域所得向上支援事業(R2)

生産性・品質の向上、長ねぎの生産拡大

- 大区画化・排水改良により、生産性向上、長ねぎの生産拡大

R2から酒米(きたしずく)の生産開始



長ねぎ畑



基盤

基盤整備

(S55年～現在)

【整備前】

- 狭小で排水不良により生産性が低いほ場



生産現場

農作業の省力化による新たな取組

- R3年産長ねぎの出荷量は8千トンで、10年前の1.6倍
- 長ねぎ主産地の千葉県産が減少する8月～10月に出荷することで高価格に



地域の取組

北海道の道南に酒蔵を復活

- R3年に新たな蔵元が誕生
- 地元農家と契約栽培した酒米と横津岳の伏流水を利用し、地元のごちそうと一緒に飲める地酒づくり
- 酒粕は飲食店に無償提供
- 酒米の米粉は町内の学校給食等に使用



箱館醸蔵(有)

担い手

地域活性化に女性が活躍

- 北海道ふる水指導員や蔵元に女性が活躍
- 蔵元と大学が連携し、人工知能を活用した杜氏技術の「見える化」の研究など多様な取組を展開



子供への食育活動などを行う「ななえの食を考える会」

農作物の多様化と関連商品で地域が活性化

- 地元企業が長ネギを使った「長ネギカレー」や、酒粕を使った「粕汁」を商品化
- 「酒米」・「長ねぎ」の生産拡大と販売額増加
- 日本酒「郷宝(ゴッホウ)」が優れた道産加工品を選定する北のハイグレード食品2023に選出

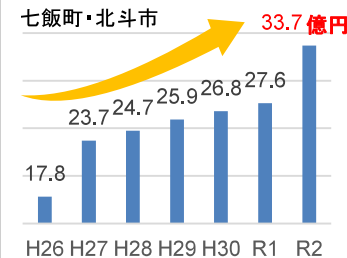


酒米の販売実績



出典:七飯町

長ねぎの販売実績



出典:JA新はこだて

【お問い合わせ先】

北海道農政部農村振興局農村設計課

〒060-8588 札幌市中央区北3条西6丁目

TEL :011-231-4111 (内線27-864)

FAX :011-232-0027